

社会人の生成AI利用に関する 調査報告書

eラーニング戦略研究所
eLearning Strategy Research Institute

目次

調査概要

P.4

サマリ

- 1. 77.8%が生成AI活用で“成果”を実感 P.6
- 2. 生成AI活用は二極化が進行か P.7

調査結果

P.9

調查概要



調査概要

調査目的	生成AIに対する社会人の利用状況を調査し、今後のニーズや課題を探る
調査手法	アンケート専門サイトを用いたWebアンケート調査
調査期間	2024年9月9日～9月10日
調査対象者	全国の社会人（会社・団体の経営者、役員、会社員および自営業者）
有効回答数	100名
実施主体	eラーニング戦略研究所

サマリ



- 1 生成AIを知っている人は7割。生成AIを知っている7割のうち実際に利用しているのは4割。
- 2 業種別では「IT・通信・インターネット」の利用率が高く、「サービス・レジャー」「医療・福祉・介護」の利用率が低い。
- 3 85.7%がChatGPTを利用しており圧倒的なシェア。GoogleのGemini、MicrosoftのBing AIがそれを追う形となっている。
- 4 ビジネスで生成AIがよく活用されている領域は「情報収集」「文章校正」「企画書作成」など。
- 5 一方、「仕事では生成AIを利用していない（仕事以外で利用している）」と答えた人も約3人に1人に上る。
- 6 生成AIによるメリットは「業務・作業の効率化」「アウトプットの質の向上」など。スキルアップにつながったという意見もあり、77.8%が成果を実感している。

- 7 生成AI利用者の9割が「今後も生成AIを利用する」と回答。そのうち約半数がさらなる利用拡大を検討。
- 8 一方、非利用者のうち約7割が「今後も生成AIを利用しない」「わからない」と回答。このことから、生成AI活用は二極化が進んでいると言える。
- 9 生成AIの正確性や著作権問題、個人情報や機密情報の漏えいが懸念されている。法規制やガイドラインの順守が今後の普及のカギとなる。

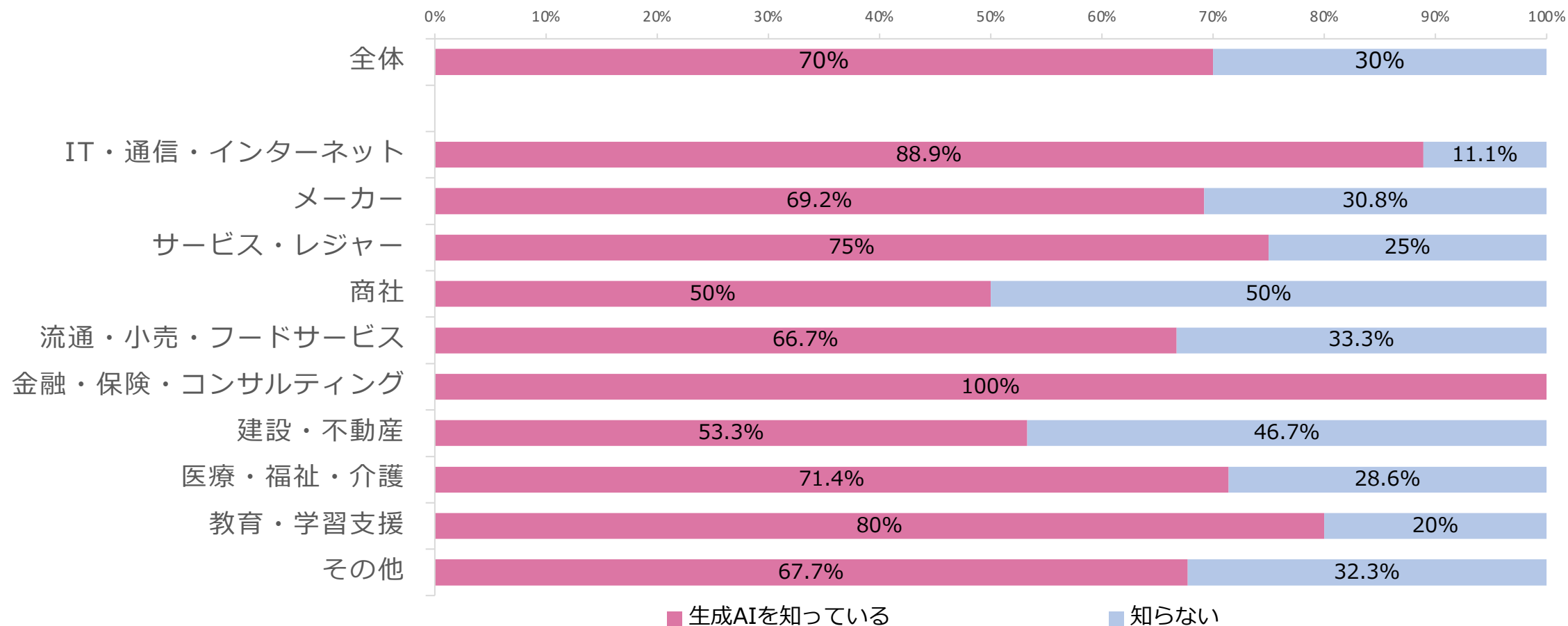
調查結果



調査結果

1. 生成AIの認知度

生成AIの全体認知度は70%。業種によって認知度に差が見られる。

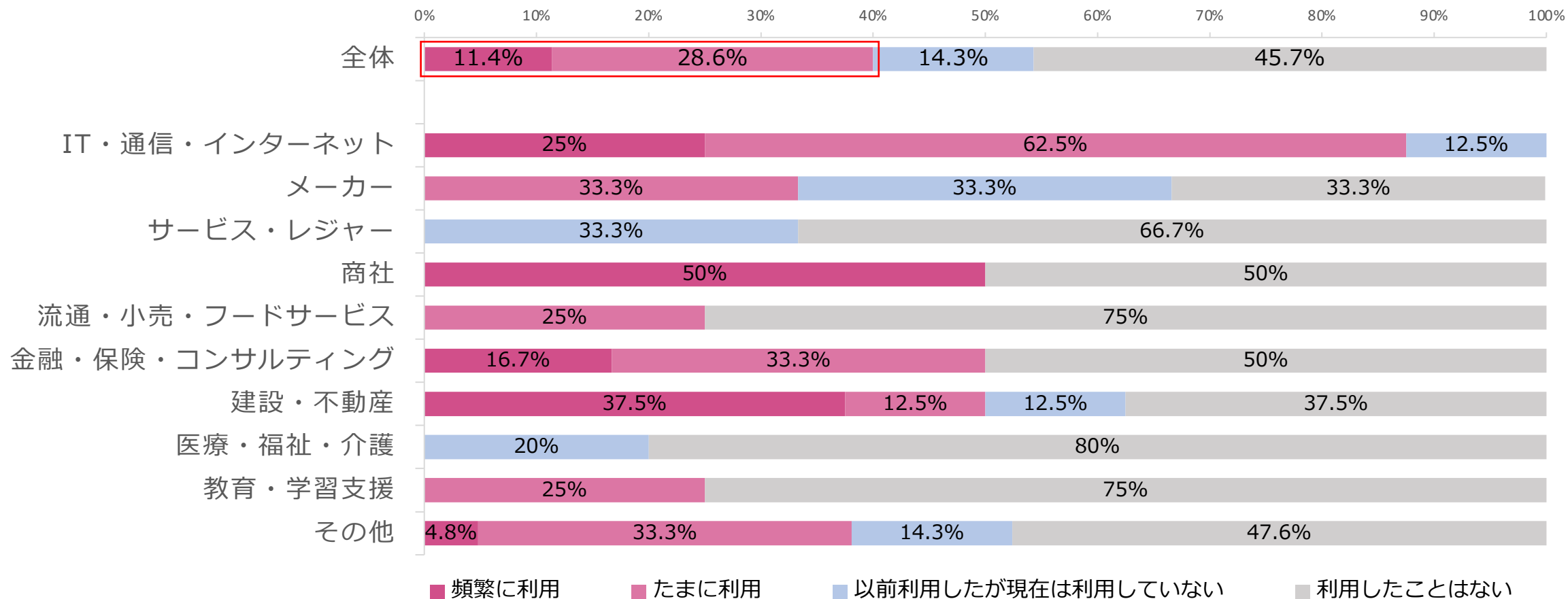


Q：生成AIを知っていますか？ (n=100)

調査結果

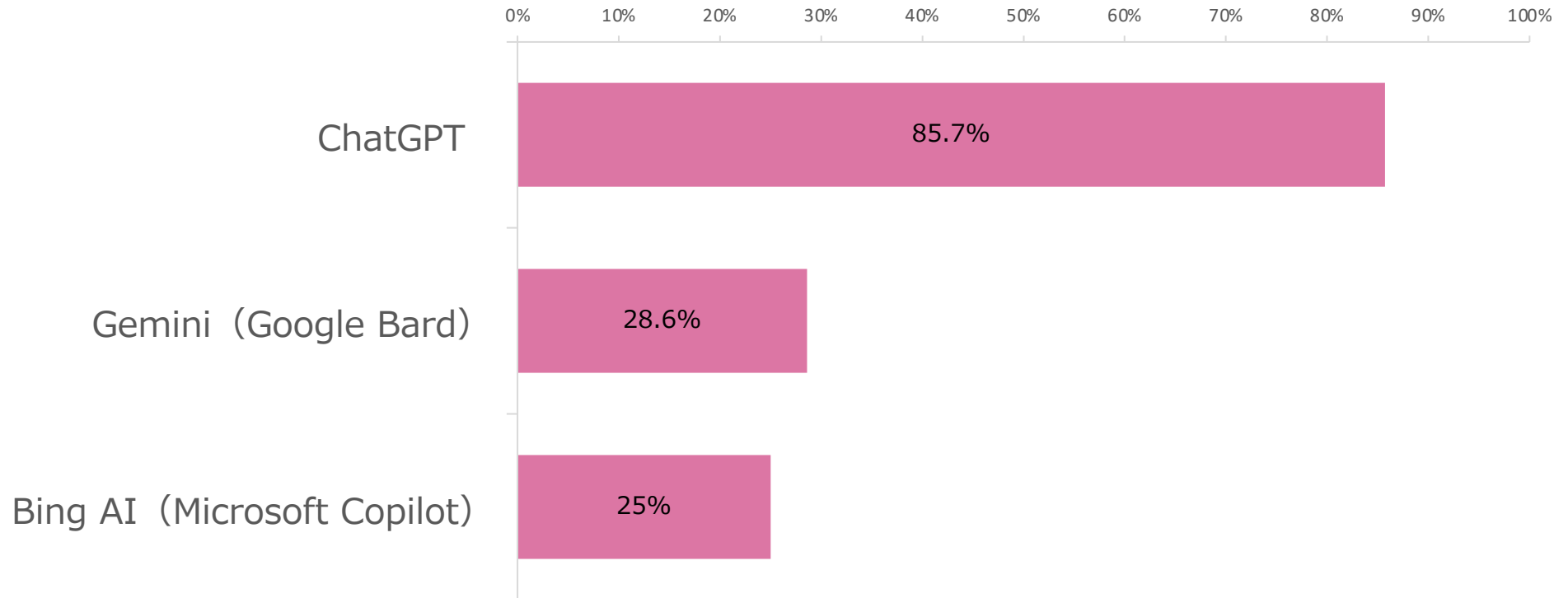
2. 生成AIの利用率

生成AIを知っている人で実際に利用しているのは4割。業種別では「IT・通信・インターネット」における利用率が高い。



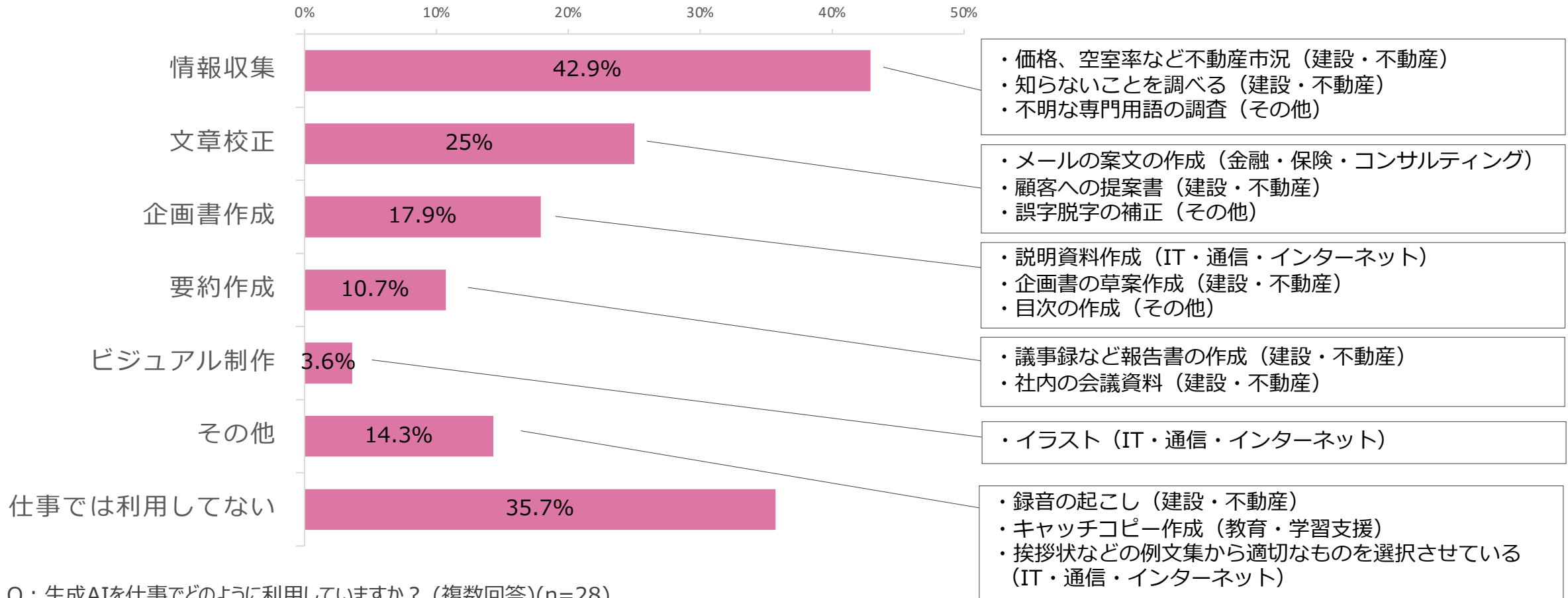
Q：生成AIを利用していますか？ (n=70)

85.7%がChatGPTを利用し圧倒的なシェア。GoogleのGemini、MicrosoftのBing AIがそれを追う形となっている。



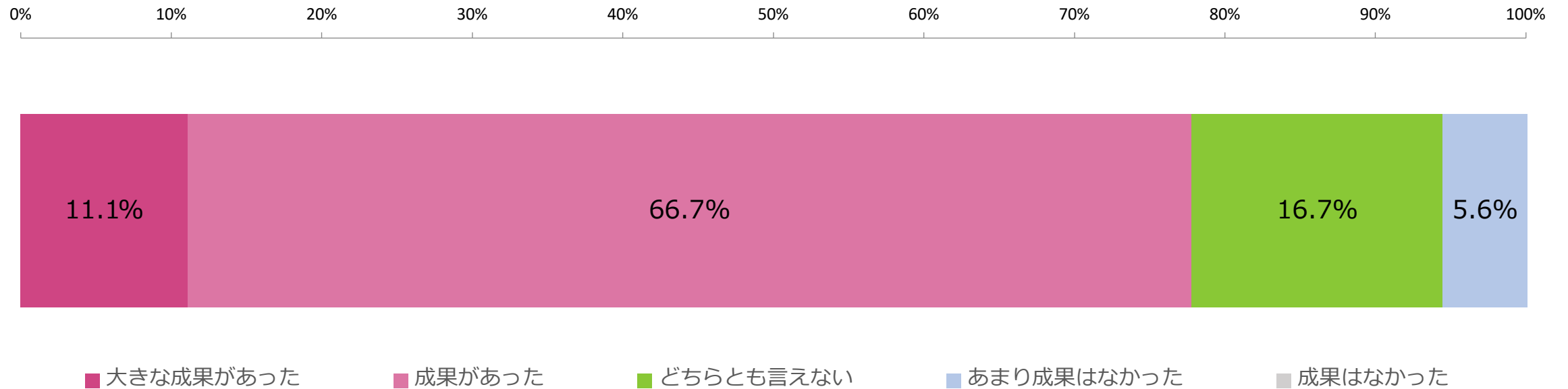
Q：利用したことのある生成AIをすべてお答えください。(複数回答)(n=28)

生成AIは市場調査や企画書の草案作成など様々なシーンで活用されている。一方、仕事以外で生成AIを利用している人も少なくない。



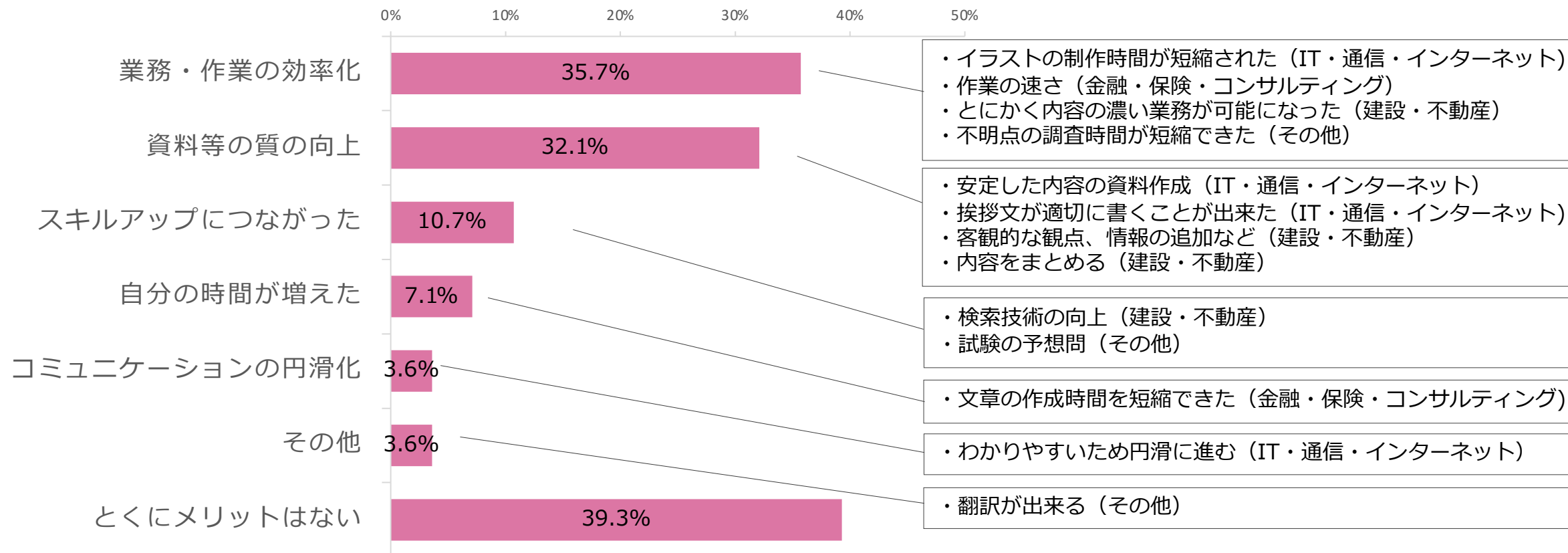
Q：生成AIを仕事でどのように利用していますか？（複数回答）(n=28)

生成AIを仕事で利用している人の77.8%が成果を実感している。



Q：生成AIの利用は業務において成果を上げていますか？ (n=18)

生成AIの最大のメリットは「作業の効率化」「アウトプットの質の向上」。スキルアップにつながったという意見も見られる。

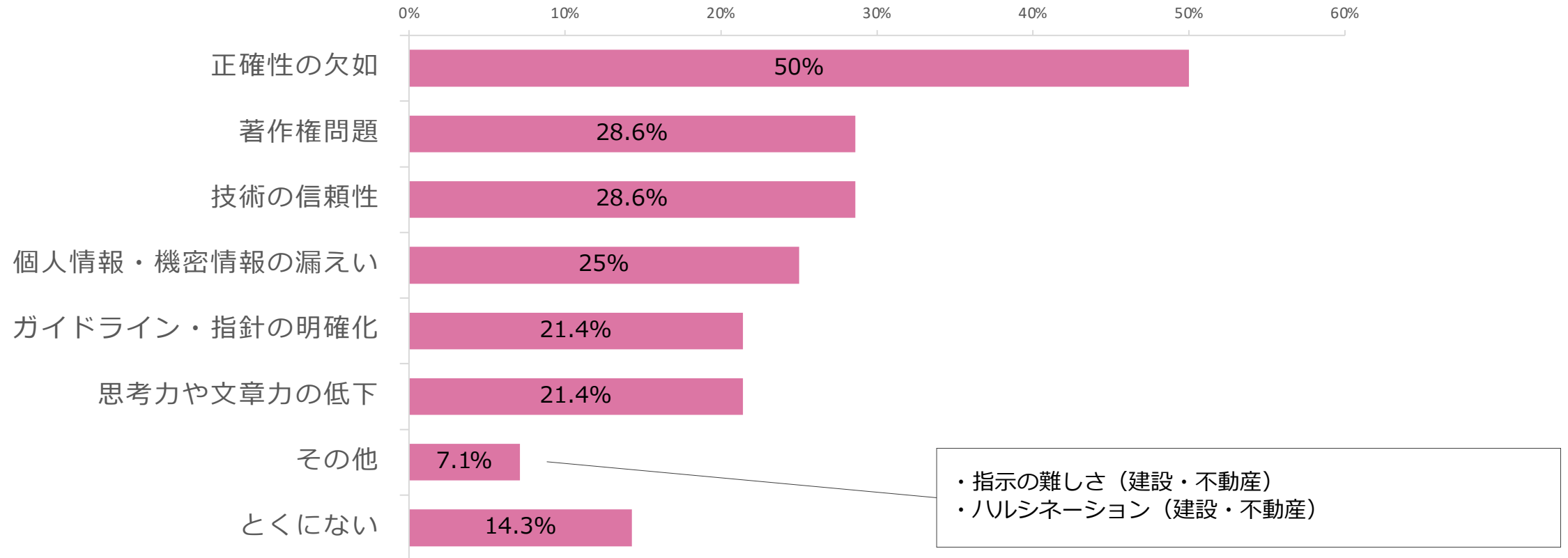


Q：生成AIの利用はどのようなメリットをもたらしていますか？当てはまるものをすべて選択し、具体的な内容を記述してください。(複数回答)(n=28)

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">● ツール作成で知らないコードも簡単に探し出せて展開してくれる（IT・通信・インターネット）● イラストを制作するにあたって、原案を基に加工できるため、一から作らずに済みます（IT・通信・インターネット）● 歴史上の些細な事件を調べていたが、その背景が分かった（金融・保険・コンサルティング）● キャッチコピーのヒントを得られた（教育・学習支援）● 資格試験の予想問題の作成が簡単（その他）● 考えがまとまらない時に相談相手となってもらえる（建設・不動産）● 専門的なこともだいたいだけど教えてくれるので検索に時間を取られずにすんでいる（メーカー） | <ul style="list-style-type: none">● 文書の内容のレベル・正確さが期待通り。時間が節約できて業務上で大変助かっております。（建設・不動産）● 文章を作成する時間が短縮できたことと、文章の質があがったこと（金融・保険・コンサルティング）● 外国語の文章を作りやすい（その他）● 翻訳などの語学（その他）● 効率化と情報の整理（IT・通信・インターネット）● 一般的な知識の向上（IT・通信・インターネット）● 書類の作成が早くなった（建設・不動産）● 不明点の調査時間が短縮できた（その他） |
|--|--|

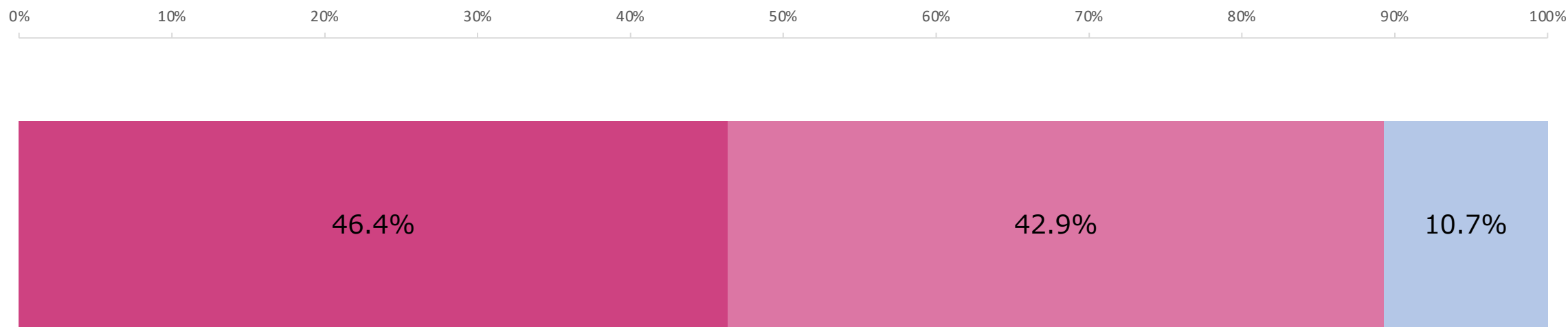
Q：生成AIを利用して最も役立ったと感じたエピソードを教えてください。（有効回答15）

生成AIの正確性や著作権の問題、個人情報や機密情報の漏えいなどが懸念されている。



Q: 生成AIを利用する上での課題や懸念は何ですか? (複数回答)(n=28)

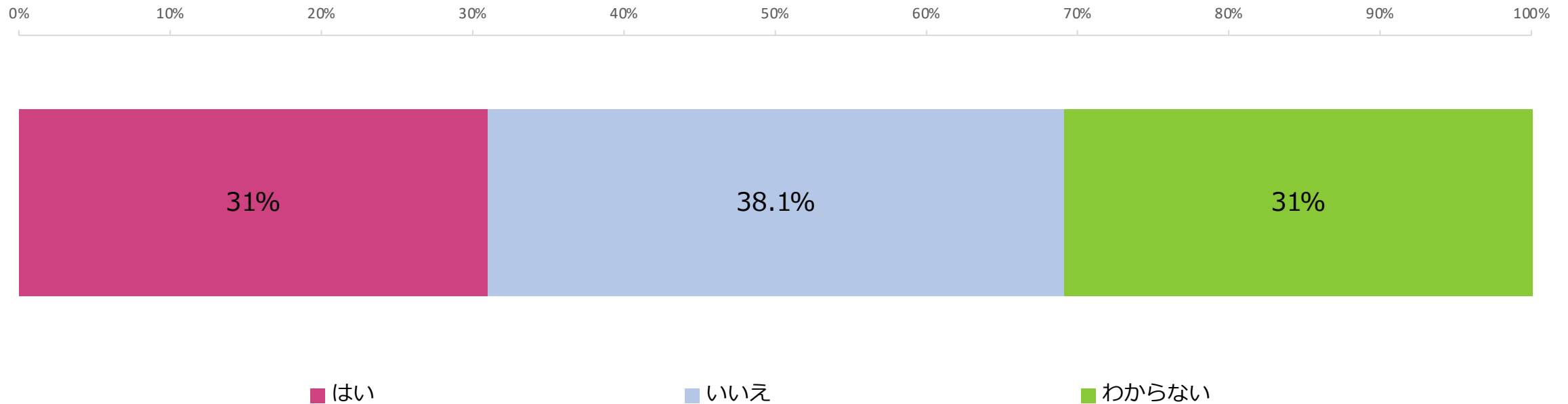
利用者の9割が今後も生成AIを利用すると回答。そのうち約半数が利用拡大を考えている。



■ 利用範囲を広げるなど、より便利な使い方を見つけたい ■ これまで通り利用したい ■ 利用はできるだけ減らしたい ■ 今後は利用しない

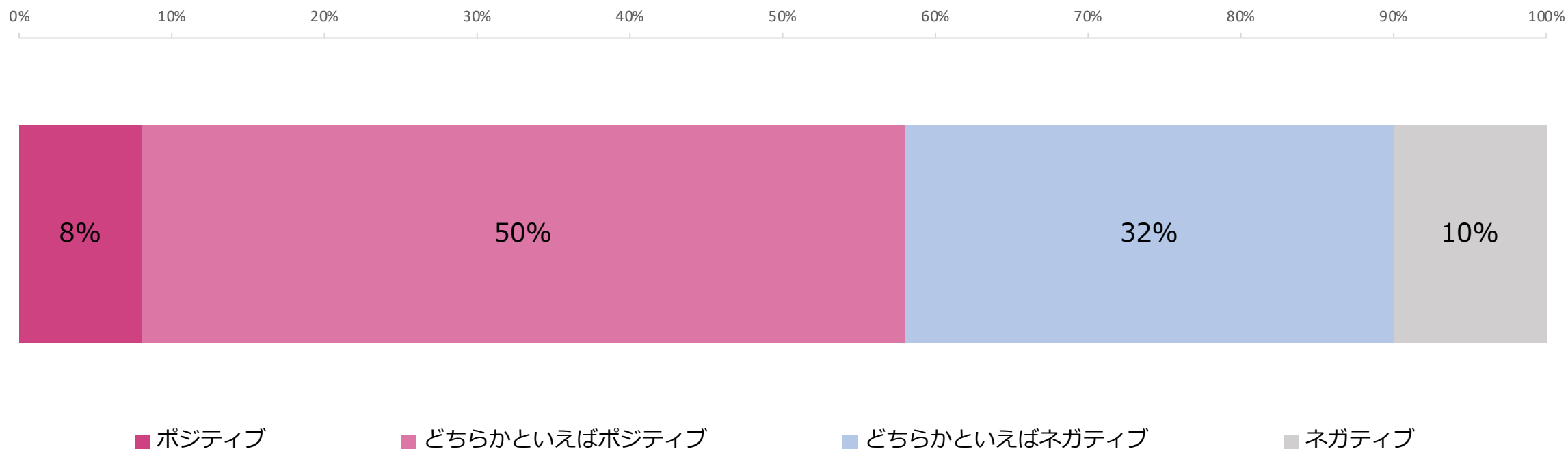
Q：これからも生成AIを利用したいですか？（n=28）

非利用者のうち約7割が「今後も生成AIを利用しない」「わからない」と回答。「利用したい」の3割を上回る結果となった。



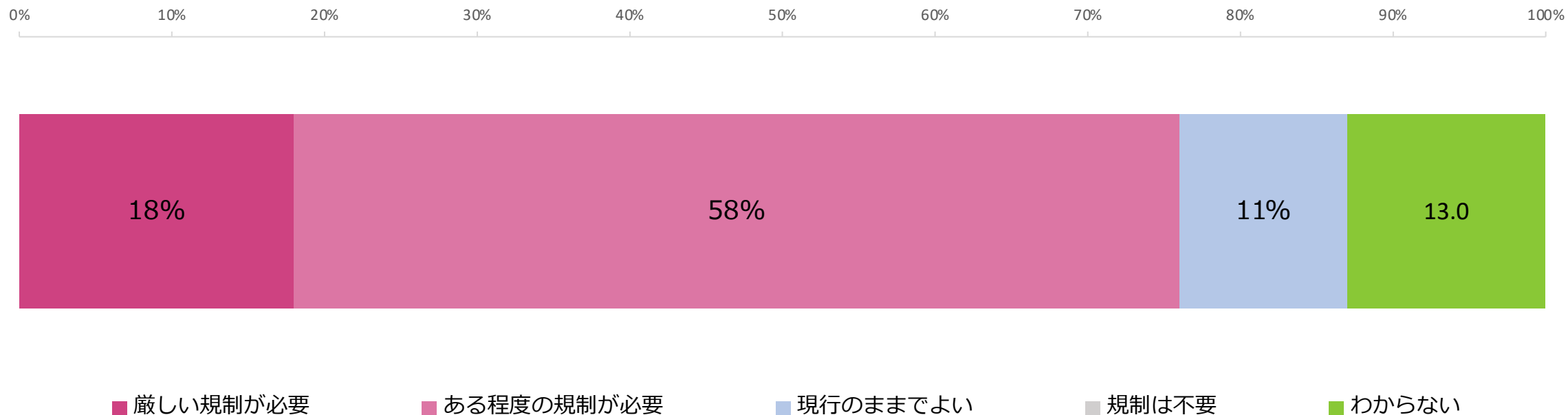
Q：質問2で生成AIを利用していないと答えた方にお聞きます。今後、生成AIを利用したいと思いますか？理由もお答えください。(n=42)

「ポジティブ」「どちらかといえばポジティブ」が58%でネガティブ派よりやや上回る。



Q：生成AIが社会や私たちの生活に与える影響について、どのように考えていますか？ (n=100)

76%が規制が必要と回答。法やガイドラインに則り、適切に使用すべきという意見が多い。



Q：生成AIに関する今後の法規制やガイドラインについてどのように考えていますか？（n=100）

社会人の生成AI利用に関する調査報告書

デジタル・ナレッジ 調査



2024年11月発行

発行元：株式会社デジタル・ナレッジ「eラーニング戦略研究所」

〒110-0005 東京都台東区上野5丁目3番4号 eラーニング・ラボ 秋葉原

Tel. 03-5846-2131 / Fax. 03-5846-2132

<https://www.digital-knowledge.co.jp/>

(禁無断転載・転用・複写)